

学生の確保の見通し等を記載した書類

東京農工大学 大学院先進学際科学府

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	・ ・ ・ ・ 2
① 学生の確保の見通し	・ ・ ・ ・ 2
ア. 定員充足の見込み	・ ・ ・ ・ 2
イ. 定員充足の根拠となる客観的データの概要	・ ・ ・ ・ 3
ウ. 同分野を有する競合校の状況	・ ・ ・ ・ 7
エ. 学生納付金の設定の考え方	・ ・ ・ ・ 7
② 学生確保に向けた具体的な取組状況	・ ・ ・ ・ 8
(2) 人材需要の動向等社会の要請	・ ・ ・ ・ 9
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	・ ・ ・ ・ 9
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	・ ・ ・ ・ 9

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア. 定員充足の見込み

東京農工大学大学院先進学際科学府（以下「新学府」という。）の修士課程は、現代的な新しい課題に対して計測科学、計算科学、データ科学を三位一体として連携・融合した取組で解決へと導き、世界で活躍できるグローバル高度職業人材を育成し、高度職業専門人材をより多く社会に輩出することを目的とする。新学府ではディプロマ・ポリシーに掲げる能力の獲得に向けて、学問分野を明確に理解し、自身の専門性に基づいた履修を可能とするため、先進学際科学専攻の下に4つのコース（予測情報学コース、資源・エネルギー科学コース、健康・福祉科学コース、食料・環境科学コース）を設置し、入学定員を99人に設定する（図1）。

先進学際科学府	
専攻	コース
修士課程〔2年〕 先進学際科学 入学定員：99人 (収容定員：198人)	予測情報学
	資源・エネルギー科学
	健康・福祉科学
	食料・環境科学

図1 修士課程の入学定員

本学は農学、工学を両輪とする我が国のなかでもユニークな2学部制の大学である。新学府では、農学・工学の自然科学領域を基盤とした学生が入学してくることを想定しており、本学大学院（修士、博士前期、専門職学位課程）における過去5年間の志願状況及び定員充足率、内部進学率の実績や、学部生を対象とした大学院進学希望調査に加え、社会・地域が求める人材需要の見通しを反映する求人企業等へのアンケート調査のデータを総合的に検討した結果、質を担保しつつ定員を充足することが可能であると判断した。

先進学際科学専攻の資源・エネルギー科学コース、健康・福祉科学コース及び食料・環境科学コースについては、既存の生物システム応用科学府の専攻を再編して設置するものである。生物システム応用科学府の過去5年間の平均志願者数は96人で入学定員を上回っており、これらのコースの募集人員69人（各コース23人）に対して約1.4倍の志願倍率であり、今後の同様の傾向が見込まれ、募集人員に対して十分充足が期待できる。新設の予測情報学コース（募集人員30人）については、農学研究院及び工学研究院を本務とする教員により構成され、主に農学部、工学部からの進学が見込まれている。農学府、工学府では、入学定員174人、397人に対して、過去5年間の平均志願倍率は、それぞれ1.7倍、1.5倍となっている。予測情報学コースの募集人員30人を含めても、同程度の志願者数となれば、農学府・工学府・新学府予測情報学コース合計の募集人員に対しても志願倍率が1.5倍弱となり、募集人員を十分に上回るニーズが存在する。以上より、新学府先進学際科学専攻の入学定員99人を十分充足できる見込みであり、今後も安定して学生を確保できることが予想される。

イ. 定員充足の根拠となる客観的データの概要

本学大学院（修士、博士前期、専門職学位課程）における過去5年間の志願状況及び定員充足率（表1）の実績は、募集人員を超える志願者（5年間の平均倍率は1.6倍）に対し、適正な入学定員の管理を行っていること（5年間の平均充足率は約115%）を示している。

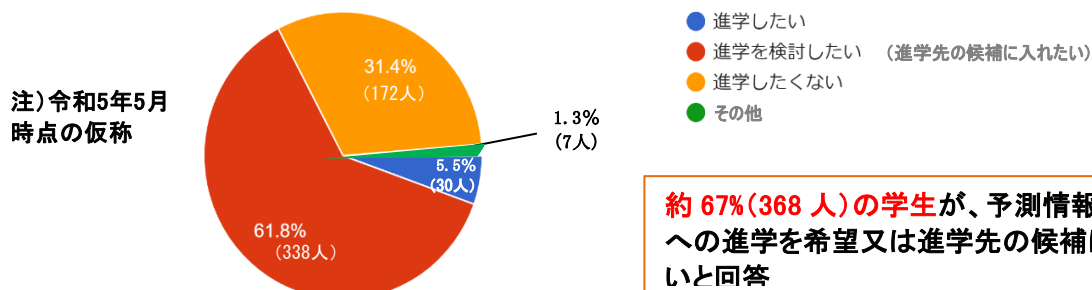
表1 本学大学院における過去5年間の志願状況及び定員充足率

部局 (課程)	区分	H31/R元	R2	R3	R4	R5	合計
工学府 (博士前期課程・ 専門職学位課程)	入学定員 (募集人員)	380人	380人	380人	380人	397人	1,917人
	志願者数	546人	525人	566人	577人	629人	2,843人
	志願倍率	1.4倍	1.4倍	1.5倍	1.5倍	1.6倍	1.5倍
	入学者数	398人	397人	427人	411人	445人	2,024人
	入学定員 充足率	104.7%	104.5%	112.4%	108.2%	112.1%	105.6%
農学府 (修士課程)	入学定員 (募集人員)	174人	174人	174人	174人	174人	870人
	志願者数	288人	293人	309人	298人	324人	1,512人
	志願倍率	1.7倍	1.7倍	1.8倍	1.7倍	1.9倍	1.7倍
	入学者数	209人	215人	220人	204人	231人	1,079人
	入学定員 充足率	120.1%	123.6%	126.4%	117.2%	132.8%	124.0%
生物システム 応用科学府 (博士前期課程)	入学定員 (募集人員)	59人	59人	59人	59人	59人	295人
	志願者数	102人	93人	101人	95人	89人	480人
	志願倍率	1.7倍	1.6倍	1.7倍	1.6倍	1.5倍	1.6倍
	入学者数	68人	72人	70人	68人	64人	342人
	入学定員 充足率	115.3%	122.0%	118.6%	115.3%	108.5%	115.9%
平均	志願倍率	1.6倍	1.5倍	1.7倍	1.6倍	1.7倍	1.6倍
	入学定員 充足率	113.4%	116.7%	119.1%	113.6%	117.8%	115.2%

なお、新学府の設置構想に関するアンケート調査の実施（令和6年1月）に先駆け、新設する予測情報学コースに限定した学部学生（1～4年次、1308人が回答）へのアンケート調査を実施（令和5年5月）したところ（図2）、本学の修士課程へ進学希望をしている547人中、約67%（368人）の学生が「予測情報学コースに進学したい」又は「予測情報学コースを進学先の候補に入りたい」と回答しており、学部学生の関心が高いことがうかがえる。その他、予測情報学コースの関心の高さは、後述の図3-4においても確認できる。

図2 本学学部学生における予測情報学コースへの進学希望（令和5年5月実施）

「進学を希望する」又は「就職した後など、将来的に進学したいと考えている」と回答された方にお聞きします。大学院修士課程（修士課程）「予測情報学専攻（仮称）^{注1}」に進学したいと思いますか？



約67%(368人)の学生が、予測情報学コースへの進学を希望又は進学先の候補に入れたいと回答

また、過去5年間の農学部及び工学部卒業生の大学院進学率及び内部進学率の実績（表2）については、大学院進学率は卒業生のうち平均で71.5%（659人）で、大学院進学者のうち内部進学率は平均で91%（600人）を超えており、農学部及び工学部の卒業生が本学大学院への強い進学意欲を有していることの証左であると考えられる。

表2 農学部、工学部卒業生の大学院進学率及び内部進学率の実績（過去5年間）

単位：人

学科		年度					計
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
農学部 総計	①卒業生数	320	303	318	316	308	1,565
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	180 56.3%	193 63.7%	205 64.5%	194 61.4%	182 59.1%	954 61.0%
	③内部進学者数 (内部進学率)	166 92.2%	167 86.5%	178 86.8%	165 85.1%	164 90.1%	840 88.1%
工学部 総計	①卒業生数	588	592	598	583	682	3,043
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	455 77.4%	455 76.9%	474 79.3%	466 79.9%	489 71.7%	2,339 76.9%
	③内部進学者数 (内部進学率)	417 91.6%	421 92.5%	439 92.6%	429 92.1%	452 92.4%	2,158 92.3%
合計	①卒業生数	908	895	916	899	990	4,608
	②大学院進学者数 (大学院進学率)	635 69.9%	648 72.4%	679 74.1%	660 73.4%	671 67.8%	3,293 71.5%
	③内部進学者数 (内部進学率)	583 91.8%	588 90.7%	617 90.9%	594 90.0%	616 91.8%	2,998 91.0%

新学府進学が想定される本学学部生（3年次生を中心とした505人の学部学生が回答）を対象とした、大学院進学希望調査（令和6年1月実施）の結果（図3-1参照）は、回答した502人中約88%（439人）の学生が大学院修士（博士前期）課程まで進学することを念頭に置いている。

また、新学府の設置構想について442人中約75%（330人）が「関心がある」又は「ある程度関心がある」と回答（図3-2参照）するとともに、新学府への進学については、約89%（391人）の学生が「進学したい」又は「進学先の候補として検討したい」と回答（図3-3参照）している。

さらに、専攻の下に置く4コースに対する進学希望又は興味について調査の結果、新設する「予測情報学コース」と回答した学生が40%（116人）と最も多かった。（図3-4参照）

図3-1 本学学部生における大学院進学希望

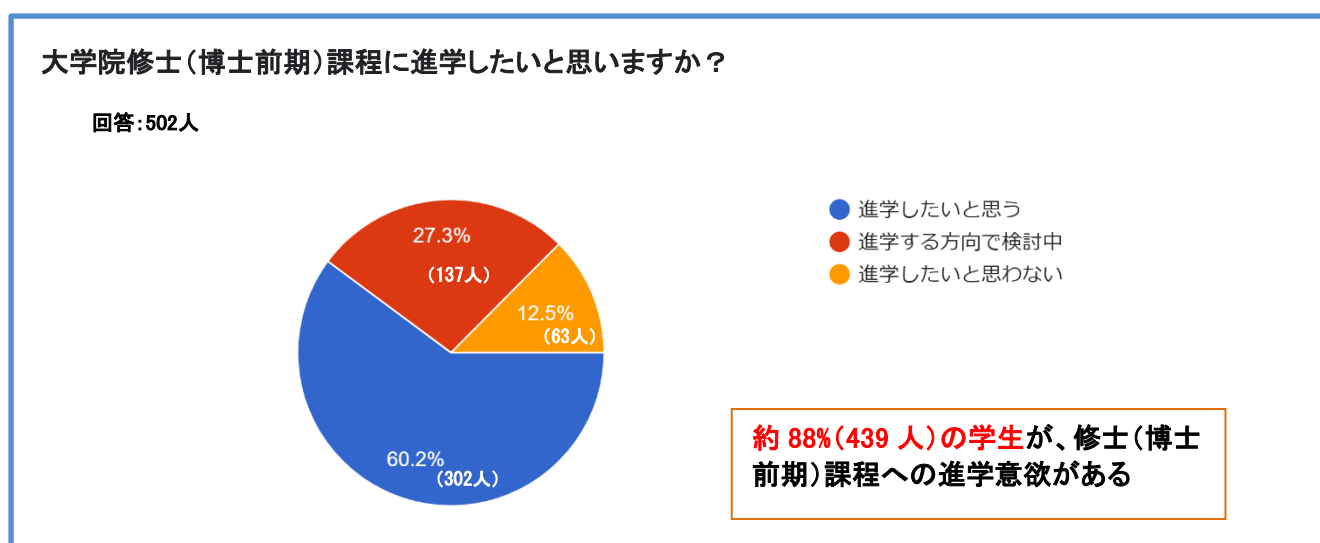


図3-2 新学府の設置構想にかかる関心度

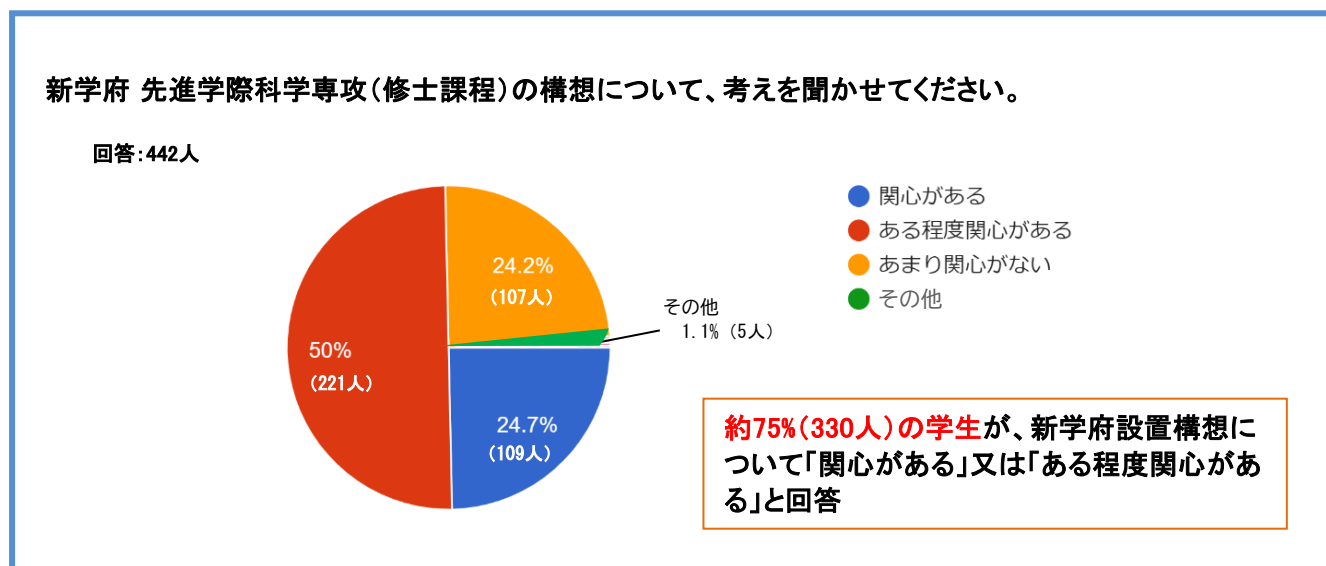


図3-3 新学府への進学希望

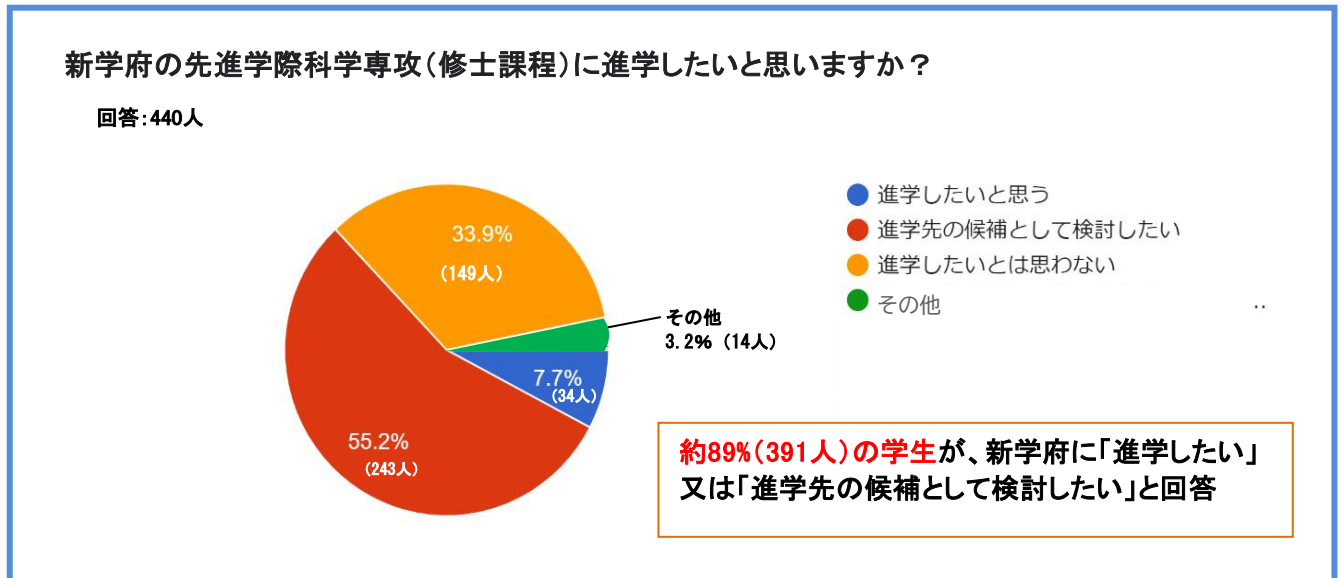
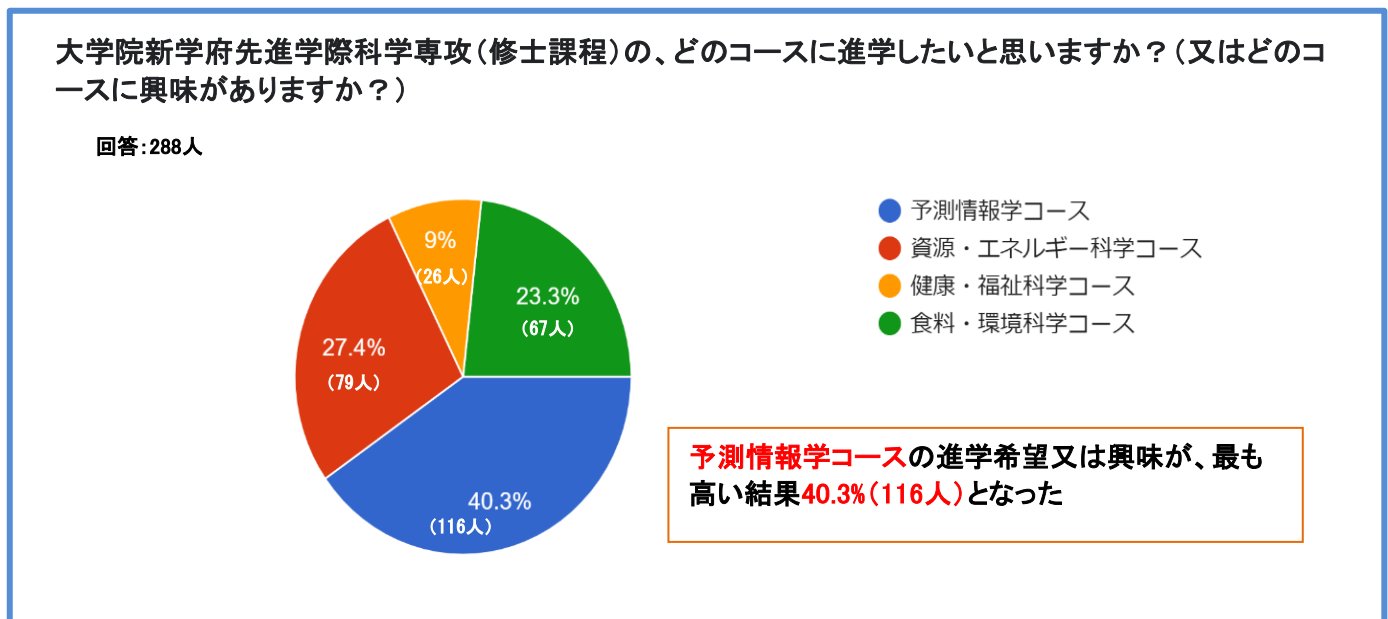


図3-4 各コースに対する進学希望や興味

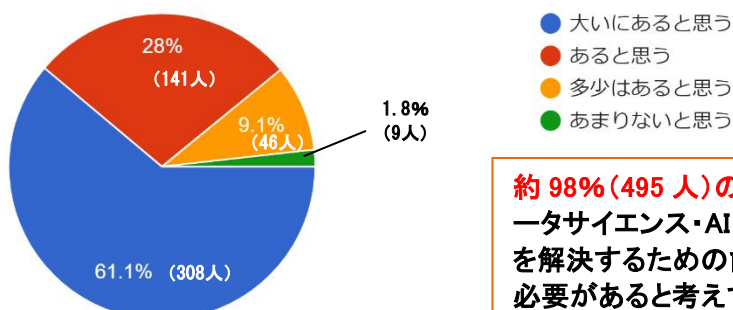


最後に、新学府が目指す、「農学・工学間の協働の視点を持ち、次世代の情報・デジタル未来社会の創生に取り組めるグローバル高度職業人材の養成」に関連して、本学学部生に「数理・データサイエンス・AIを活用して、課題を解決するための能力を身に付ける必要性」について調査した結果(図3-5参照)、約89%(449人)を超える学生が「大いにあると思う」「あると思う」と回答した。「多少は身に付ける必要がある」との回答を含めると約98%(495人)の学生がその必要性を感じている。

図3-5 現代社会における数理・データサイエンス・AIを活用して課題を解決するための能力を身に付ける必要性について

現代社会において数理・データサイエンス・AIを活用して、課題を解決するための能力を身に付ける必要があると思いますか？

回答:504人



約 98% (495 人) の学生が、数理・データサイエンス・AI を活用して、課題を解決するための能力を身に付ける必要があると考えている

ウ. 同分野を有する競合校の状況

新学府先進学際科学専攻は農学・工学を基盤として、情報・デジタル技術や数理手法を応用して、計測科学、計算科学、データ科学を三位一体として、新しい知識やイノベーションを生み出し課題解決を目指す人材を育成することを目的としている。

近隣の都道府県には同様の教育を行う大学院はないことから競合校はないと考えられる。

エ. 学生納付金の設定の考え方

本学の学生納付金は、「国立大学等の授業料その他費用に関する省令（平成16年文部科学省令16号）」に定める標準額を基として、本学が定める国立大学法人東京農工大学諸料金に関する規程に基づき、以下のとおり設定している。

- ・ 入学料：282,000円、検定料：30,000円
- ・ 授業料：642,960円（年額）

なお、令和6年度以降の学士課程及び大学院課程の入学者から順次、授業料を改定（標準額の1.2倍）する計画であり、大学院生については、令和7年度入学者から改定額を適用することとしている。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学のホームページの「学部・大学院の設置・改組のお知らせ」に、新学府（修士課程）の教育の特色、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、入試情報などの情報を発信する。

新学府のホームページでは、教員の研究、教育研究に関すること、想定する進路等について紹介し、新学府の魅力を広く発信し、志願者の確保に努める。

新学府の修士課程の志願者を対象とした大学院進学説明会を開催（社会人や遠隔地居住者等を考慮し、ハイブリッドで開催する）する。

また、外国人留学生の受入を促進するため、外国人留学生特別プログラム入試を実施し、各国の優秀な留学生を受け入れる計画としている。現在、国際交流小委員会（全学組織）を中心として海外の姉妹校協定校等に訪問した際に全教員が広報活動を行えるよう、オリジナルのパンフレットの作成を進めている。そのパンフレットを活用し、大学の広報活動を行う。さらに、本学学生の海外派遣や留学生の受入を通じて国際交流を推進し、新学府の修士課程への入学につなげていく。

さらには、社会人の多様なキャリア形成を支援するため、社会人特別入試を実施し、広く受け入れる。

なお、令和6年度以降は、学生に対する経済的支援を拡充することとしており、経済的に困窮している学生に加えて、大学院への進学意欲が高い学生を支援する仕組みを構築し、各種経済的支援を実施していくこととしている。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学は、「使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力」（MORE SENSE: Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth）を基本理念として標榜し、「持続発展可能な社会の実現」に向け、社会や自然環境と調和した科学技術の進展、課題解決とその実現を担う人材の育成を目的としている。この基本理念及び学長のリーダーシップのもと「農学、工学およびその融合領域における科学的探究を通じ、次の時代のあるべき姿を示し努力するすべての人を尊重し、人の価値を知的に社会的に最大に高める世界第一線の研究大学となることを目指す」ことを重要なビジョンの一つとして掲げ、国際的に卓越した大学院を形成し、教育研究環境の基盤を強化することとしている。

新学府では、多様な社会ニーズと高度な技術シーズを協働させ、グローバル社会で戦力となり牽引できる高度職業人材を輩出することを目的として、本学の強みである「食料・環境、資源・エネルギー、ライフサイエンス（健康・福祉）分野の教育研究力」に「情報・デジタルおよびAI・数理・データサイエンスに関する教育研究力」を結集することにより、農学・工学間の協働の視点を持ち、次世代の情報・デジタル未来社会の創生に取り組めるグローバル高度職業人材を養成しようとするものである。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

社会・地域が新学府に求める人材需要の見通しを明らかにするため、令和6年1月に本学への求人企業に対してアンケート調査を実施し、採用選考に関わっている立場の方を中心として、多種多様な業種の企業等135社から回答を得た。アンケート項目は、別添資料1のとおりであり、教育研究の特色や養成する人材像等を説明する資料を添付した。

アンケートの結果（図5）から、「農学または工学をベースとして異なる学問領域や学術分野を横断して協働し、計測科学、計算科学、データ科学を三位一体として、新しい知識やイノベーションを生み出し課題解決を目指す人材」の必要性については、約95%（128社）の企業等から必要である旨の回答を得られた。

また、「新学府の博士前期課程（修士課程）を修了した学生を採用したいか」の調査では、約73%（98社）が「積極的に採用したい」または「採用したい」を選択、「採用する可能性がある」を含めると約93%（125社）の企業から新学府の修了生を採用の対象とする旨の回答を得られ、新学府の修了生が社会において必要であると判断できる。なお、新学府先進学際科学専攻では学年進行に合わせて博士後期課程を設置する予定であり、現生物システム応用科学府における博士後期課程進学率等を踏まえると、99人の入学定員に対して、約13人（過去5年平均。図4参照）の学生は博士後期課程に進学することが見込まれる。前述の企業に対してのアンケート結果も踏まえると新学府修士課程の修了生のうち就職が見込まれる（博士後期課程に進学しない者）者約86人に対する社会的ニーズは十分あると考えられる。

図4 博士後期課程への内部進学者数等

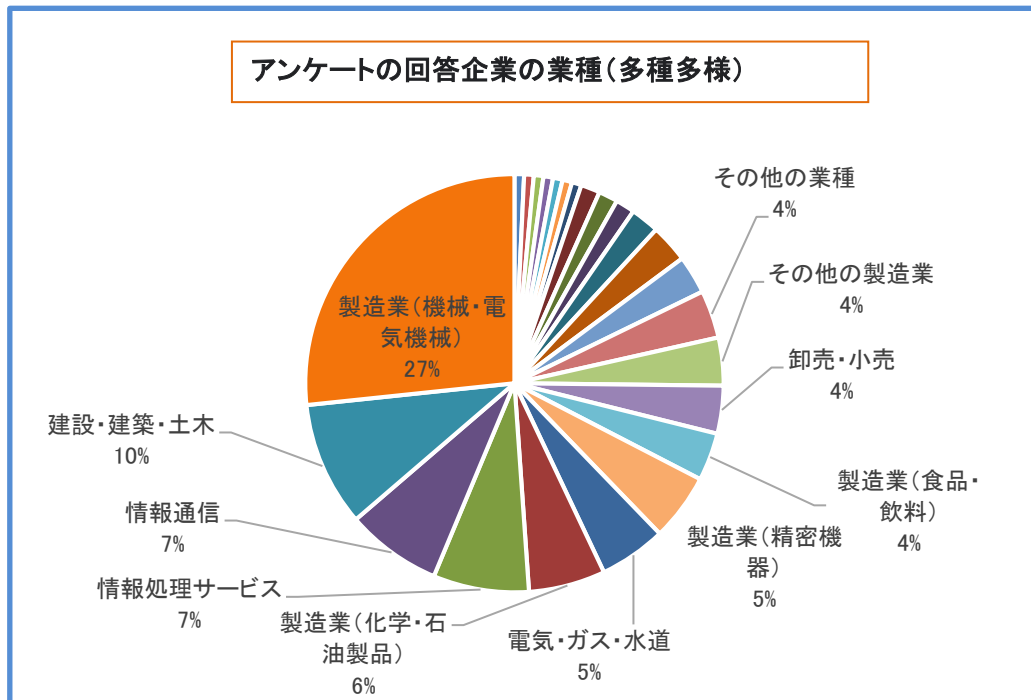
単位：人

専攻		年度	H31 (R元)	R2	R3	R4	R5	平均
生物システム 科学専攻 (博士後期課程)	【①】内部進学者数 (内部進学率)		4 (15.4%)	0 (0.0%)	3 (17.6%)	9 (37.5%)	8 (38.1%)	5 (22.0%)
	(参考) 入学者数		26	21	17	24	21	22
食料エネルギー システム科学専攻 (一貫制博士課程)	【②】2→3年次 進級者数		12	9	8	4	5	8
	(参考) 入学者数		H29入学 12	H30入学 10	H31/R元入学 11	R2入学 9	R3入学 8	10
合計		合計 【①+②】	16	9	11	13	13	13

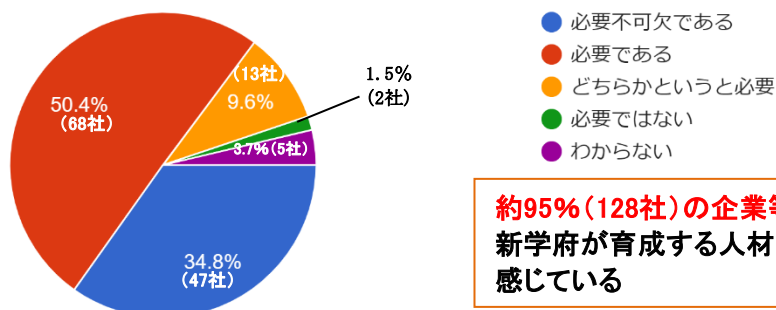
最後に、修了生に求める知識や能力等を期待するかについては、以下の回答を選択した企業等が多数であった。これらの意見も参考にして、新学府の人材育成に活かしていく所存である。

- ・自ら課題を設定し解決する能力 約75% (101社)
- ・自立した思考や他者との協働を実践する力 約74% (100社)
- ・様々な場でデジタル化を進め、応用するために必要な知識・技術 約66% (89社)
- ・先進情報技術やデータサイエンスを応用するために必要な知識・技術 約65% (88社)

図5 求人企業アンケート調査 (R6年1月実施)

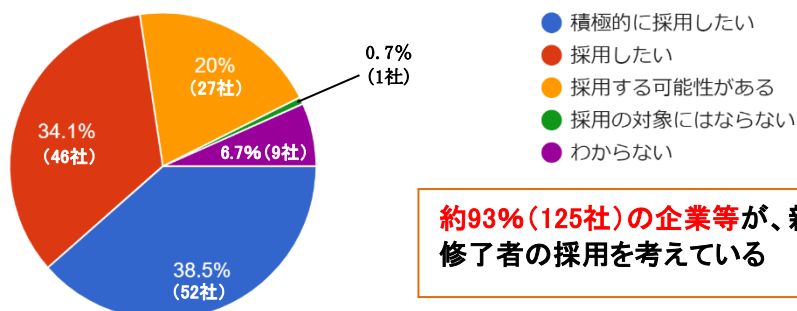


農学または工学をベースとして異なる学問領域や学術分野を横断して協働し、計測科学、計算科学、データ科学を三位一体として、新しい知識やイノベーションを生み出し課題解決を目指す人材を必要だと思われますか？



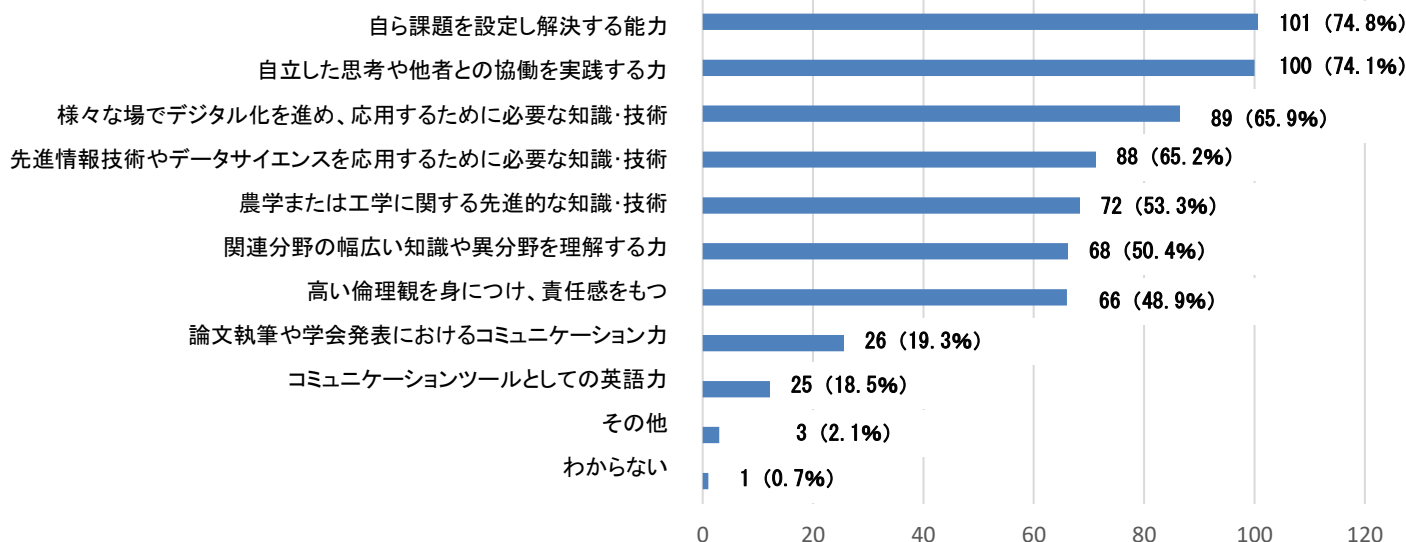
約95% (128社)の企業等が、新学府が育成する人材の必要性を感じている

農学または工学の基礎を学び、大学院博士前期課程において「先進学際科学専攻」を修了した、学際型高度職業人材を採用したいと思われますか？



約93% (125社)の企業等が、新学府修了者の採用を考えている

大学院博士前期課程において、「先進学際科学専攻」を修了した人材に、どのような知識や能力、技術を期待しますか？（複数回答）



学生の確保の見通し等を記載した書類「資料」

資料1 新学府設置の計画にかかるアンケート調査票様式（在学生向け）・・・ 2

資料2 新学府設置の計画にかかるアンケート調査票様式（企業等向け）・・・ 7

新学府設置の計画にかかるアンケート調査のお願い（在学生向け）

東京農工大学では、農学・工学を基盤とした学際的な研究において、**計測科学、計算科学、データ科学を三位一体として連携・融合することにより**、実データを活用した知の創造、社会課題の解決、イノベーションの創出に挑める人材を育成するため、「大学院先進学際科学府」（以下「新学府」）先進学際科学専攻を設置する計画を進めています。

なお、新学府設置に伴い大学院生物システム応用科学府（以下「BASE」）は新学府に再編されるため、段階的に学生募集を停止します。

新学府は、令和7（2025）年4月に博士前期課程を、令和9（2027）年4月に博士後期課程を開設予定です。

【博士前期課程】

1専攻4コースから構成される予定です。

（参考：博士（後期）課程は、2専攻から構成される予定です）

新学府の博士前期課程については、「予測情報学」（情報系の農工融合による学際的な新たなコース）、「資源・エネルギー科学」、「健康・福祉科学」、「食料・環境科学」の4つのコースを設置する予定であり、深い学識と研究能力および国際通用性を兼ね備える人材育成を目指します。

新学府の設置計画にかかる基礎データとして、学生の皆様を対象としたアンケート調査を実施しますので、添付資料（※）を参照の上、ご協力をお願いいたします。【所要時間：2分程度】

※新学府・先進学際科学専攻は設置構想中であり、内容が変更になる可能性があります。

回答期限：令和6年2月2日（金）まで

この調査への回答は匿名化されており、メールアドレスの収集も行いません。
ご協力いただきました情報については、厳正に管理させていただきます。
また、この調査の結果は、上記の目的以外には使用いたしません。

東京農工大学先進学際科学府設置準備委員会

あなたの所属学部等を教えてください。

1. 学部

1つだけマークしてください。

農学部 質問2にスキップします

工学部 質問4にスキップします

農学部学生にお聞きします。

2. 学科名

1つだけマークしてください。

生物生産学科

応用生物科学科

環境資源科学科

地域生態システム学科

共同獣医学科

3. 学年

1つだけマークしてください。

1年

2年

3年

4年

5年（共同獣医学科のみ）

6年（共同獣医学科のみ）

質問6にスキップします

工学部学生にお聞きします。

4. 学科名

1つだけマークしてください。

- 生命工学科
- 生体医用システム工学科
- 応用化学科
- 化学物理工学科
- 機械システム工学科
- 知能情報システム工学科

5. 学年

1つだけマークしてください。

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年

数理・データサイエンス・AIについてお聞きします。

6. あなたは現代社会において数理・データサイエンス・AIを活用して、課題を解決するための能力を身に付ける必要があると思いますか？

1つだけマークしてください。

- 大いにあると思う
- あると思う
- 多少はあると思う
- あまりないと思う

質問 7 にスキップします

大学院修士（博士前期）課程への進学についてお聞きします。

7. あなたは（東京農工大学に限らず）大学院修士（博士前期）課程に進学したいと思いませんか？

1つだけマークしてください。

- 進学したいと思う 質問 8 にスキップします
- 進学する方向で検討中 質問 8 にスキップします
- 進学したいと思わない
セクション 10（アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございます。最後に「送信」ボタンをクリックしてください。）にスキップ

新学府 先進学際科学専攻（博士前期課程）についてお聞きします。

新学府 先進学際科学専攻（博士前期課程）の設置構想については、添付資料を参照願います。

東京農工大学大学院 先進学際科学府（博士前期課程）
の設置を構想しています

注）現時点では設置に向けた構想中であり、内容を変更する場合があります

- 東京農工大学では、高度職業人材の育成機能を強化するため、大学院生物システム応用科学府（博士前期課程、一貫制博士課程）を発展的に改組し、令和7年4月に新たな学府となる「**大学院先進学際科学府（博士前期課程）**」の設置を構想しています
- 異分野共創の新学府における農学・工学を基盤とした学際的な研究において、**計測科学、計算科学、データ科学を三位一体で連携・融合することにより、実データを活用した、知の創造、社会課題の解決、イノベーションの創出に挑める人材を育成**します

大学院先進学際科学府（博士前期課程）設置構想の概要

- 開設日（予定） 令和7年（2025年）4月1日
- 学府名称 大学院先進学際科学府
- 専攻名称 先進学際科学専攻
Graduate School of Advanced Interdisciplinary Science,
Department of Advanced Interdisciplinary Science
- コース名称 予測情報学コース
資源・エネルギー科学コース
健康・福祉科学コース
食料・環境科学コース
の**4コース**
- 入学定員 **99名**

農学部 | 数理・データサイエンス AI教育プログラム | 工学部

大学院先進学際科学府 設置の趣旨および必要性

背景

✓ 現代社会が抱える様々な問題

- ・学際的アプローチが不可欠
- ・デジタル分野の急速な発展

✓ 我が国における取り組み

- ・研究者の協働による学際研究
- ・デジタル分野の国際競争力低下

✓ 企業から求められる人材

- ・将来のデジタル社会を担う高度教育を受け、学際的思考で新分野を開拓し、様々な社会課題を解決できる職業人材
- ・国際社会で活躍できる職業人材

期待・要望

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

予測情報学コース(新設)

高度で革新的な計測・情報・デジタル技術を用いてデータを収集し、最新の数理・データサイエンス・AI技術に基づいて不確実な未来を「予測」することで、分野を跨いで新しい普遍的な知と価値を創造できる人材を育成

先進学際科学府

高度職業人材育成機能を強化するため、異分野協創の学際的新学府では農・工に関する研究において計測科学・計算科学・データ科学を三位一体として連携・融合することにより実データを活用した知の創造と社会課題を解決する人材を輩出

1専攻(コース制)へ再編

本学の教育基盤である農学と工学を基盤とした新たな教育理念のもとで幅広い分野を教育し、学際的分野への対応力を含めた専門知識を活用・応用する能力を有する人材を育成

生物システム応用科学府(既存学府)

設置の効果

- 農・工を基盤とする数理・データサイエンス・AI教育の強化、高度職業人材育成機能の強化
- 予測科学に基づく農工共創・共進のフラッグシップ全学的研究機構への発展

2

TAT

大学院先進学際科学府 養成する人材像

【養成する人材像】

自身の専門分野に加え複数の学問分野の視点や方法論に基づき新たな専門的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、創造的研究の実践により持続可能で安心安全な社会の発展に貢献できる人材

農学または工学などの自身の専門分野において最新の情報・デジタル・数理技術と連携した新たなシステムの創出に果敢に挑戦し、学際的な知識や技術を習得した人材

様々な事業プロジェクトを自ら企画・立案し、その実現に必要な交渉力や思考力、折衝力・検証能力を身につけ、課題を解決へと導く能力を有する人材

産業界における国際的なニーズの潮流を理解し、卓越したコミュニケーション力により国際社会で活躍できる人材

【出口イメージ】

国内外の製造業、自治体等の公的機関での専門家、研究者、技術職員、大学等の教員、研究員など(特にイノベーションを重視する民間企業や研究機関など)

国内外の民間企業や自治体・公的機関における製造業やIT・AI・デジタル関連業の技術開発、データ管理、研究開発など

UNICEF、JICA、FAO、ISOなどの各国際機関、外務省等、民間開発コンサルタント、NPO/NGOなど

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

農学部

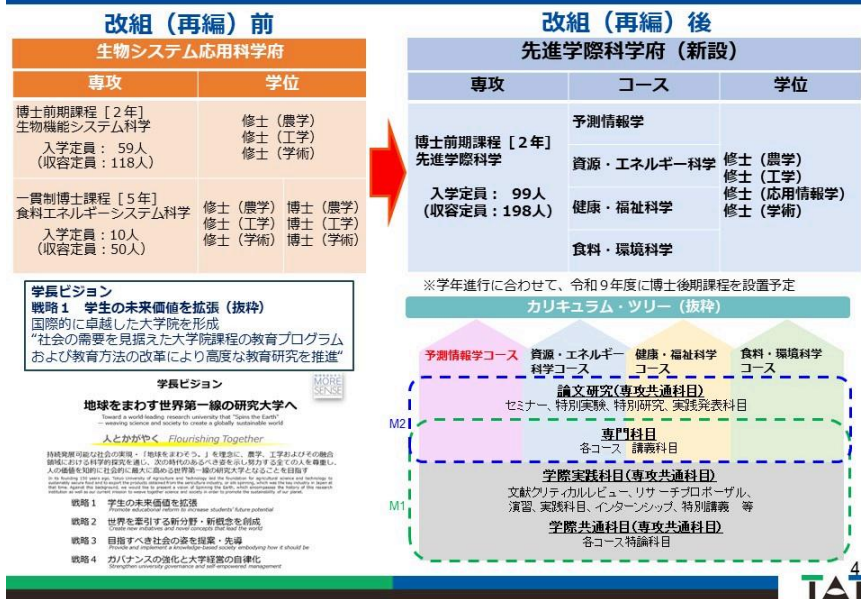
工学部

社会人

3

TAT

大学院先進学際科学府（博士前期課程）設置構想



8. 新学府 先進学際科学専攻（博士前期課程）の構想について伺います。新学府構想について、考えを聞かせてください。

1つだけマークしてください。

- 関心がある
- ある程度関心がある
- あまり関心がない
- その他: _____

9. 新学府の先進学際科学専攻（博士前期課程）に進学したいと思いますか？

1つだけマークしてください。

- 進学したいと思う 質問 10 にスキップします
- 進学先の候補として検討したい 質問 10 にスキップします
- 進学したいとは思わない 質問 11 にスキップします
- その他: _____

前の質問で「進学したい」、「進学先の候補として検討したい」のいずれかを回答された方にお聞きします。

10. 大学院新学府先進学際科学専攻の、どのコースに進学したいと思いますか？
(又はどのコースに興味がありますか?)

1つだけマークしてください。

- 予測情報学コース
- 資源・エネルギー科学コース
- 健康・福祉科学コース
- 食料・環境科学コース

セクション 10 (アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。最後に「送信」ボタンをクリックしてください。) にスキップ

前の質問で「進学したいとは思わない」と回答された方にお聞きします。

11. そのように考える理由は何でしょうか？

1つだけマークしてください。

- 本学他学府への進学を希望しているから
- 他大学への進学を希望しているから
- 就職を第一希望としているから
- その他: _____

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。最後に「送信」ボタンをクリックしてください。

このコンテンツはGoogleが作成または承認したものではありません。

Google フォーム

新学府設置の計画にかかるアンケート調査のお願い（企業等の皆様向け）

東京農工大学では、農学・工学を基盤とした学際的な研究において、**計測科学、計算科学、データ科学を三位一体として連携・融合することにより**、実データを活用した知の創造、社会課題の解決、イノベーションの創出に挑める人材を育成するため、「大学院先進学際科学府」（以下「新学府」）先進学際科学専攻を設置する計画を進めています。

※
アンケート等に記載されている先進学際科学府・先進学際科学専攻は設置構想中であり、内容が変更になる可能性があります。

新学府は、令和7（2025）年4月に博士前期課程を、令和9（2027）年4月に博士後期課程を開設予定です。

【博士前期課程】

1専攻4コースから構成される予定です。

【博士後期課程】

2専攻から構成される予定です。

新学府の博士前期課程については、「予測情報学」（情報系の農工融合による学際的な新たなコース）、「資源・エネルギー科学」、「健康・福祉科学」、「食料・環境科学」の4つのコースを設置する予定であり、深い学識と研究能力および国際通用性を兼ね備える人材育成を目指します。

設置を計画している「**新学府先進学際科学専攻**」における**社会的ニーズを把握するため、企業等の皆様を対象としたアンケート調査を実施させていただくこととなりました。**

大変お忙しいところ恐縮ではございますが、別添資料を参照のうえ、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

【所要時間：3分程度】

回答期限：令和6年2月2日（金）まで

ご協力いただきました情報については、厳正に管理させていただきます。
また、この調査の結果は、上記の目的以外には使用いたしません。

東京農工大学先進学際科学府設置準備委員会

1. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、教えてください

1つだけマークしてください。

- 北海道
- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- 新潟県
- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 山梨県
- 長野県
- 岐阜県
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 兵庫県
- 奈良県
- 和歌山県

* 必須の質問です

- 鳥取県
- 島根県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 高知県
- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県
- 大分県
- 宮崎県
- 鹿児島県
- 沖縄県

2. 貴社・貴団体の業種について、もっともあてはまるものを1つ選択してください

1つだけマークしてください。

- 農業・林業・漁業・鉱業
- 建設・建築・土木
- 製造業（食品・飲料）
- 製造業（繊維・衣料品）
- 製造業（木材・家具）
- 製造業（紙・印刷）
- 製造業（化学・石油製品）
- 製造業（機械・電気機械）
- 製造業（情報通信機器）
- 製造業（電子部品・デバイス）
- 製造業（精密機器）
- 製造業（輸送機器）
- その他の製造業
- 電気・ガス・水道
- 情報通信
- 運輸・輸送・物流
- 卸売・小売
- 金融・保険・不動産
- 飲食
- 宿泊
- 教育・研究
- 医療・福祉
- 情報処理サービス
- エンターテインメント・広告
- 専門サービス（弁護士・会計士）
- その他の業種
- 省庁・出先機関
- 地方公共団体
- 学校・大学

3. アンケートにお答えいただいている方について教えてください*

1つだけマークしてください。

- 採用の決裁権があり、選考に関わっている
- 採用の決裁権は無いが、選考に関わっている
- 採用には関わっていない

新学府 先進学際科学専攻（博士前期課程）についてお聞きします。

新学府 先進学際科学専攻（博士前期課程）の設置構想については、添付資料を参照願います。

東京農工大学大学院 先進学際科学府（博士前期課程）

の設置を構想しています

注）現時点では設置に向けた構想中であり、内容を変更する場合があります

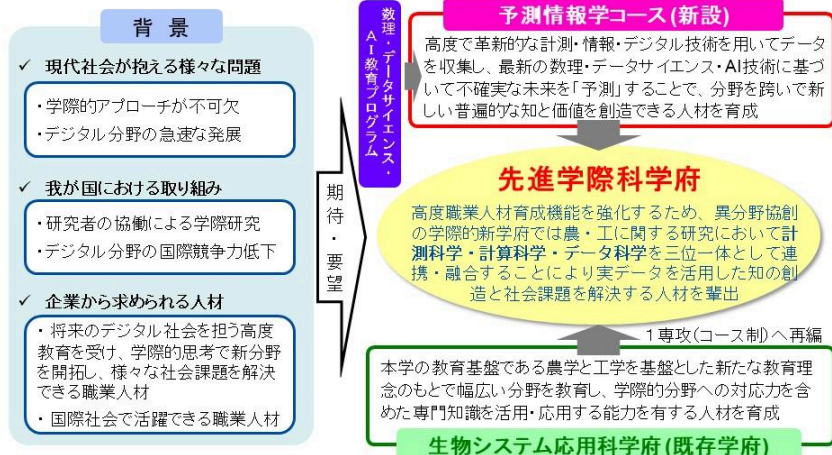
- 東京農工大学では、高度職業人材の育成機能を強化するため、大学院生物システム応用科学府（博士前期課程、一貫制博士課程）を発展的に改組し、令和7年4月に新たな学府となる「**大学院先進学際科学府（博士前期課程）**」の設置を構想しています
- 異分野共創の学府における農学・工学を基盤とした学際的な研究において、**計測科学、計算科学、データ科学を三位一体で連携・融合することにより、実データを活用した、知の創造、社会課題の解決、イノベーションの創出に挑める人材を育成**します

大学院先進学際科学府（博士前期課程）設置構想の概要

- 開設日（予定） 令和7年（2025年）4月1日
- 学府名称 大学院先進学際科学府
- 専攻名称 先進学際科学専攻
Graduate School of Advanced Interdisciplinary Science,
Department of Advanced Interdisciplinary Science
- コース名称 予測情報学コース
資源・エネルギー科学コース
健康・福祉科学コース
食料・環境科学コース
の**4コース**
- 入学定員 **99名**



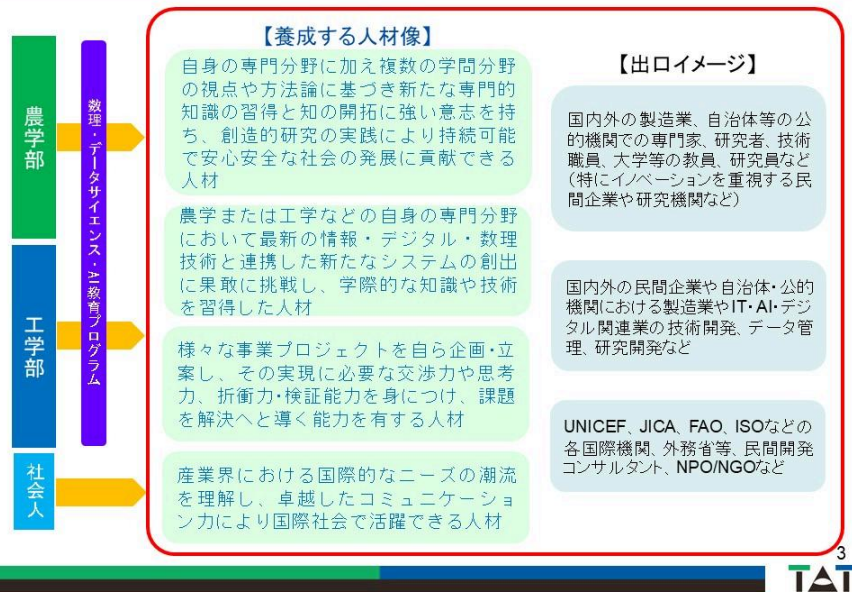
大学院先進学際科学府 設置の趣旨および必要性



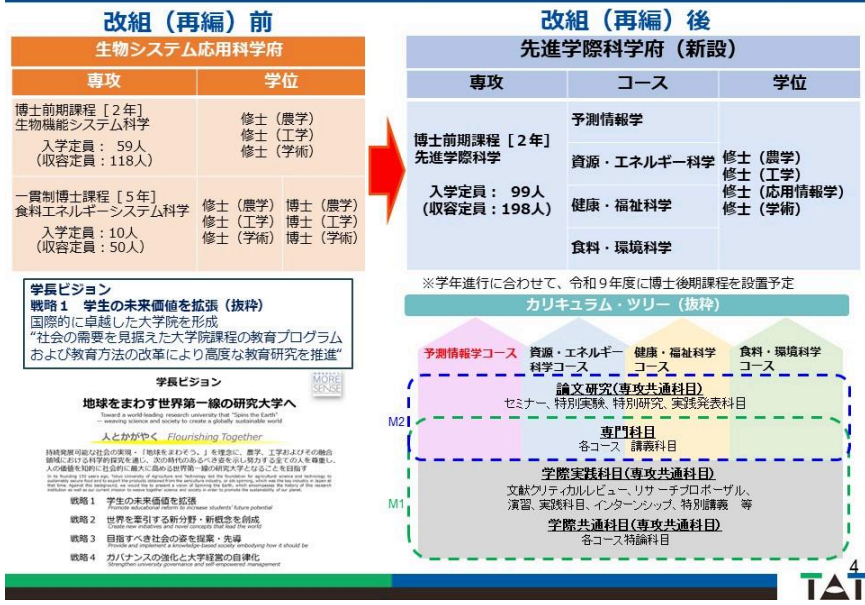
設置の効果

- 農・工を基盤とする数理・データサイエンス・AI教育の強化、高度職業人材育成機能の強化
- 予測科学に基づく農工共創・共進のフラッグシップ全学的研究機構への発展

大学院先進学際科学府 養成する人材像



大学院先進学際科学府（博士前期課程）設置構想



4. 貴社・貴団体は、農学または工学をベースとして異なる学問領域や学術分野を横断して協働し、計測科学、計算科学、データ科学を三位一体として、新しい知識やイノベーションを生み出し課題解決を目指す人材を必要だと思いますか？ *

1つだけマークしてください。

- 必要不可欠である
- 必要である
- どちらかという必要
- 必要ではない
- わからない

5. 貴社・貴団体は、農学または工学の基礎を学び、大学院博士前期課程において「先進学際科学専攻」を修了した、学際型高度職業人材（※）を採用したいと思われませんか？ *

※自身の専門性にしっかりと軸足を置きながらも、その専門的な観点から社会課題を捉え、様々な事業プロジェクトを自ら企画・立案し、その実現のために先端情報・デジタル・数理技術や他分野の研究成果を取り入れ解決へと導くことができる人材である。

1つだけマークしてください。

- 積極的に採用したい
- 採用したい
- 採用する可能性がある
- 採用の対象にはならない
- わからない

6. 貴社・貴団体は、大学院博士前期課程において、「先進学際科学専攻」を修了した人材に、どのような知識や能力、技術を期待しますか？（複数回答） *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 農学または工学に関する先進的な知識や技術をもつ
- 先進情報技術やデータサイエンスを応用するために必要な知識・技術をもつ
- 様々な場でデジタル化を進め、応用するために必要な知識・技術をもつ
- 自立した思考や他者との協働を実践する力をもつ
- 高い倫理観を身につけ、責任感をもつ
- 自ら課題を設定し解決する力をもつ
- 論文執筆や学会発表におけるコミュニケーション力をもつ
- コミュニケーションツールとしての英語力をもつ
- 関連分野の幅広い知識や異分野を理解する力をもつ
- 分からない
- その他: _____

7. 貴社・貴団体は、農学または工学の基礎を学び、大学院博士後期課程において「先進学際科学専攻」を修了した人材を採用したいと思いませんか？ *

1つだけマークしてください。

- 積極的に採用したい
- 採用したい
- 採用する可能性がある
- 採用の対象にはならない
- わからない

8. 貴社・貴団体は、大学院博士後期課程において、「先進学際科学専攻」を修了した人材に、どのような知識や能力、技術を期待しますか？（複数回答） *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 農学または工学に関する先進的な知識や技術をもつ
- 先進情報技術やデータサイエンスを応用するために必要な知識・技術をもつ
- 様々な場でデジタル化を進め、応用するために必要な知識・技術をもつ
- 自立した思考や他者との協働を実践する力をもつ
- 高い倫理観を身につけ、責任感をもつ
- 自ら課題を設定し解決する力をもつ
- 論文執筆や学会発表におけるコミュニケーション力をもつ
- コミュニケーションツールとしての英語力をもつ
- 関連分野の幅広い知識や異分野を理解する力をもつ
- 分からない
- その他: _____

差し支えない範囲で貴社・貴団体の情報を教えてください

9. 貴社・貴団体の名称について、教えてください

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。最後に「送信」ボタンをクリックしてください。